



# 九条の会. ひがしなだ ニュース

第 158 号

2023年  
2月22日

事務局 西谷利文 Tel 080-1485-5603 E-mail [nishi-t@hm.h555.net](mailto:nishi-t@hm.h555.net)

FK 元弁護士の“ここがポイント”

## 「請求の趣旨」における一致

深草 徹



裁判を起こす際に裁判所に訴状を提出しますが、その訴状には最初にどういう判決を求めるのかという事を簡潔明瞭に書きます。それを「請求の趣旨」と呼んでいます。「九条の会」が国民という裁判所に審判を求める「請求の趣旨」は、「日本国憲法第9条を堅持する」ということに尽きます。

——9条は非軍事平和主義を謳っていることは明らかだ。しかし、現段階では、安保法制の下で米軍とともに海外で武力行使をする自衛隊は専守防衛に反しているから、専守防衛の線まで押し戻すことが先決である。そこから先は、国際法に基づく平和的国際秩序の進展、国民意識の変化の度合いに応じ、現状維持する段階、軍事費を可能な限り削減していく軍備縮小を進める段階、さらにはその先自衛隊を解消していく段階へと進め、非軍事平和主義を実現して行くべきである。それは長い過程を経なければならぬが非軍事平和主義を変えてしまってはならない。——

これは私の9条論です。でも9条は自衛のための必要最小限度の実力組織を持つことを許容しており、日本の国土と主権・独立を守るために自衛隊は必要だ、その意味で9条は正しい、これを変えてはならないという人も沢山います。むしろそちらの方がずっと多いでしょう。

どちらも「日本国憲法を堅持する」という「請求の趣旨」は一致します。このことを大切にしたいと私は思います。

(深草憲法問題研究室主宰、九条の会ひがしなだ筆頭代表世話人)

## 23春闘! シュン倒??

横林賢二



### 物価上昇を上回る賃上げを

と早々にぶち上げたがそうはいかなかった。「時の政権は、時の権力者（資本家・経団連）の政治的事務」を行うための国会。「法人税には増税しない」、

「内部留保増額の話をしていない」事が証明しています。

一方、フランスでは年金支給年齢引き上げ（62歳⇒64歳）に100万人以上が怒りのデモを行ったと1月20日のニュースで流れました。

しかし、日本の労働者は約30年間「賃金横ばい」の上、「年金減額」「増税（新たな税金）」が言われているのに「なぜ、怒りの声もデモ起こらない」のか？

そもそも「賃上げは闘いとるもの」と我々世代は学んできました。確かに連合は5%要求をしたが仮に賃上げされても中小零細企業と更に格差拡大がどの不安もあります。

教員免許更新制が2009年（平成21年）4月に導入され13年が経ちましたが、その事と怒りを示さなくなった労働者と関係があると思います。

(熟年者ユニオン 74歳)

2023年2月2日

# 安保政策の大転換は「戦争の選択」 ～戦争の準備ではなく平和の準備を～

九条の会.ひがしなだ憲法学習会



九条の会.ひがしなだは、2月18日東灘区文化センターにおいて、兵庫県弁護士9条の会事務局長の羽柴修さんを講師に憲法学習会を開きました。

羽柴弁護士は、昨年12月に岸田政権が閣議決定した「安保関連改定3文書」についてそのねらいを「国家総動員体制」をつくることにあると詳しく説明し、敵基地攻撃能力の保有は「専守防衛」との整合性は成り立たないと指摘しました。

また「軍事による抑止力は、際限のない軍拡競争に発展する。2023年度から5年間で防衛力整備費用は43兆円にもなる」とし、公共インフラの整備、自然災害への備え、気候変動への対策などが必要となっている今、戦争の準備をやっている場合か！と強調しました。

そして「核に象徴される現代の軍事技術の発達は、オーバー・キルの能力によって、在来の戦争目的の意味を殆ど失わしめるに至った。各国家の存立どころか、人類全体の自己壊滅（崩壊）の可能性から免れない事態に置かれている」という平和構想提言会議の提言を紹介し、軍事力中心主義と抑止力の神話から脱却すべきだ、「戦争は政治の選択」だが、「政治は国民の選択」だと強調しました。

## 映画案内

### 『ぼけますから、よろしくお願いします』

桑田葉子

母、87歳、認知症。父、95歳、初めての家事。  
娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。

認知症になっても明るく冗談を飛ばしたりする母・文子さんの姿があった。ちぐはぐな聞き違いや大きな声で歌う姿など、チャーミングな父・良則さんの姿が魅力的。老々介護する父の変化が見ていて感動的だった。誰にでも訪れる老い。だけど、誰かに頼り頼られ、助け合い支え合うことができているのだとしたら、それを辛いことだと捉えたくない。

「人生いいことばかりではない」という現実を乗り越えるために、皆支え合って生きているのではなかろうか。

喜劇についてのチャップリンの言葉を信条にしているという信友監督。辛いはずの現実なのに観客である私たちに希望と勇気を与えてくれる。この作品は、家族だからこそ記録できる、生と死と家族のカタチそのものだ。

3月30日（木）①11時 ②14時 1000円均一 御影公会堂



(神戸映画サークル協議会)

## 憲法私考

# 「憲法の学び直し」今こそ！！

片岡英夫

最近は「学び直し」が流行っているようです。30代～40代はスキルアップで、できるだけ高収入となる資格取得のため学習をするわけですが、誰もが同じ事を考えると資格取得しても、実際にその仕事につくのはかなり難しいと思います。

しかし、いくつになっても「学びたい」という知識欲は、多かれ少なかれ誰しも持っているのではないのでしょうか。「勉強なんか大嫌いだ」と言っている人も、人の知らないような事を知っているならば、何らかの満足した気分になるでしょう。その満足気分こそが「潜在的知識欲」だと思います。

前置きはこの程度にして憲法の話です。今国会末には、改憲のための国民投票の話がでてくるのは必至だと思います。なのに、国民の大半は「日本国憲法」を目にした事がないのが現実です。だったら、九条の会としても「日本国憲法を読み、学び直しましょう。知らないで、賛否投票をするのですか」という運動をしてはどうでしょうか。

(元高校教員 東灘区在住)

## ハナ絵モンの思い

# 児童発達支援士講座を学んで

関本（市川）英恵

子どもと関わる仕事をしているなかで、発達障害について勉強したいと感じるようになりました。発達障害専門の国家資格というものはまだないため、民間資格の児童発達支援士を取りました。発達障がい児は他者とコミュニケーションをうまくとれず、自己肯定感が低下し、うつ病や不登校などの二次障害が生まれやすい傾向があります。また、10歳から39歳までの死因1位は「自殺」（厚生労働省平成29年発表）であることから、子どもたちの自己肯定感を高める必要性を学びました。テキストでは、コミュニケーション能力を伸ばすためのトレーニング方法も紹介されていました。



この資格を認定する人間力認定協会の「障害はその子自身にあるのではなく、受け入れられない社会にこそ、障害がある」という考えに共感し、子どもたちを理解・支援できるよう引き続き学んでいきます。

(「憲法の歌」作詞者)

## 「お月さんゴメンネ」

井上邦子

「軍事費が暴騰し、税金が値上げ」こんな理不尽を許してはいけません！！

以前の団結の力がすっかり影をひそめた感があります。昇給はせず、物価の上昇～今年以前の元気を取り戻して、盛大なデモ行進、大集会を実現しなければ、と念じてやみません。

私には、5つ違いの姉がいて、父たちと一緒に薩南諸島、奄美群島、返還運動に積極的に参加したり、後には名瀬市（現在の奄美市）の市会議員を2期ほど勤めたりと活躍し、後には生活と健康を守る会でも活躍するなど元気そのものです。

その姉には「お月さんゴメンネ」というエピソードがあり、ぜひ紹介しておきたいのです。

姉さんが小学5年生、私が6歳、弟が1歳7カ月くらいの満月の夜、弟のオムツを洗うため海に入り「お月さんゴメンネ」と言ってオムツを洗い始めた。足を踏ん張って洗い、家に帰り着いたのは夜も11時過ぎ、姉は疲れた様子もみせず、明日の米をとぎ始めたのです。このエピソードを「お月さんゴメンネ」と題して、いっせい地方選挙を前にして紹介しておきたかったのです。

(西宮市在住)



### 生活山柳

小川嘉憲

「国守る」ウソで固めた 安保策

食料と エネルギー無く ミサイルか

原発を 海辺に並べ ミサイルか

沖縄が また再びの 防衛線

人減らし 大雪マゴマゴ jR

大雪に 客を閉じ込め 自己責任

物価高 スリムになった 恵方巻

気候危機 大地震でも 戦争するか

差別する 首相補佐官 首になる

賃金の 上がらぬ国で ストがない

組合が 政府に賃上げ お願いし

(21世紀の武庫川を考える会代表)

### 編集後記

通常国会が始まり、施政方針演説で岸田首相は「日本は今歴史の転換点にある」とし「安全保障政策の大転換」を行うと表明した。しかしそれにしても国会論戦が盛り上がりつつあるように見えないし、マスコミも報道に力を入れていくように見えないのは、私だけだろうか。

(N生)



### カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6  
番号 217129  
名義 九条の会. ひがしなだ